

前期と同様，講義は毎週月曜 2:40 から 4:10 まで 592 号室で，15 回あり，演習は水曜日の同じ時間に隔週で，7 回あります (593 号室，10 月 19 日から) 演習にはまた，2 回の試験 (演習時間中に実施)，1 回のレポートがあります。

講義の具体的内容としては，次のようなものを予定しています。

- (1) 定積分の厳密な定義とその性質
- (2) 広義積分
- (3) 積分の具体的計算
- (4) 無限級数と積分
- (5) 多変数関数の積分
- (6) 面積，体積の計算
- (7) 積分の変数変換

後期の成績の付け方は次のとおりです。来年に通常の学期末試験があるので，この点数を  $x_1$  とします。また，演習の時間中に 11 月 16 日と 1 月 11 日の 2 回，それぞれ 60 分ずつの中間テストを行いますので，その点数をそれぞれ  $y_1, y_2$  とします (これらはいずれも 100 点満点です) 以上に基づき，講義の点数  $x$  を， $x = 0.6x_1 + 0.2 \max(x_1, y_1) + 0.2 \max(x_1, y_2)$  とします (これは 4 月に前期用に示したのと同じ式です。前期と同様，甘い方向に変えることはあり得ます)。

演習については，次のように成績を付けます。まず，

$$a = \min(30, \text{演習時間中に前で解いた年間通算回数} \times 6),$$

$$b = \text{年間 2 回のレポート (いずれも 30 点満点) のうちのいいほうの点数,}$$

$$c = \text{年間 4 回の演習時間中のテストのうちいいほうから 2 回分の点数,}$$

とにおいて，演習の点数  $y$  を， $y = \min(100, a + b + 0.35c)$  としますが，講義の最終成績 2 回の平均が 80 点以上でかつ， $y$  よりも大きい場合は，講義の最終成績 2 回の平均を演習の成績にします。正確な中間テストの範囲についてはあとで発表します。演習問題，レポート問題は，講義または演習の時間中に配ります。

中間テスト，レポート問題を採点する Teaching Assistant (大学院生) は，前学期と交代します。

特に教科書はありません。参考書は前期と同じです。

私の研究室は理学部 5 号館 (本郷) 605 号室です。E-mail address は，[yasuyuki@tansei.cc.u-tokyo.ac.jp](mailto:yasuyuki@tansei.cc.u-tokyo.ac.jp) です。